

避難情報等の発令のタイミング判定表

避難情報等の発令のタイミング判定表																			
地区名	想定される災害	発令の種別	(A)想定する避難情報等の発令タイミング(避難路等の情報考慮なし)	指定する避難先	避難先までの路程(避難路の安全性)										総合評価による避難情報等の発令基準(A)、(B)、(C)、(D)を考慮				
					浸水の可能性					土砂災害危険箇所の近くの通過									
					通行道路の冠水の可能性			浸水する可能性のある地域の通過		危険性の高まる段階			(C)考慮すべきタイミング			該当の有無	通過の時期	危険性	(D)考慮すべきタイミング
					該当の有無	冠水か所の通過時期	冠水する段階	(B)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過時期	危険性の高まる段階	(C)考慮すべきタイミング							
岡田(A)、溝川(A)地区	紀の川破堤、越水氾濫	高齢者等避難【警戒レベル3】	(日中) ①1時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④堤防に軽微な漏水・浸食等が発見された場合	那賀高等学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが2時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する1時間前	無		①溝川地区の一部では(A)の状況になる前に内水による氾濫の可能性がある。(古戸川越水避難勧告が既に発令されている。) ②大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。				
		高齢者等避難【警戒レベル3】	(夜間) ①氾濫注意水位(5.00m)を超過し、3時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に避難判断水位を超過すると見込まれる場合	那賀高等学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが1時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する2時間前	無		①溝川地区の一部では(A)の状況になる前に内水によるはん濫の可能性がある。(古戸川越水避難勧告が既に発令されている。) ②大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。				
		避難指示【警戒レベル4】	(日中) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、1時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表された場合 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	那賀高等学校(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)											①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。				
		避難指示【警戒レベル4】	(夜間) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、3時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表されたとき。 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に氾濫危険水位を超過すると見込まれる場合 ⑥堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	那賀高等学校(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)												①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。			
		緊急安全確保【警戒レベル5】	(日中)(夜間) ①氾濫開始相当水位である9.52mに到達した場合 ②紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)	近くの安全な場所(緊急的避難行動先)															
		緊急安全確保【警戒レベル5】	(日中)(夜間) ①氾濫開始相当水位である9.52mに到達した場合 ②紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)	近くの安全な場所(緊急的避難行動先)															

避難情報等の発令のタイミング判定表

避難情報等の発令のタイミング判定表																
地区名	想定される災害	発令の種別	(A)想定する避難情報等の発令タイミング(避難路等の情報考慮なし)	指定する避難先	避難先までの路程(避難路の安全性)										総合評価による避難情報等の発令基準(A)、(B)、(C)、(D)を考慮)	
					浸水の可能性					土砂災害危険箇所の近くの通過						
					通行道路の冠水の可能性			浸水する可能性のある地域の通過		通過の時期			危険性			(D)考慮すべきタイミング
					該当の有無	冠水か所の通過時期	冠水する段階	(B)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過時期	危険性の高まる段階	(C)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過の時期		危険性
高塚(B)、清水(B)、宮(B)、西(B)野地区	紀の川破堤、越水はん濫	高齢者等避難【警戒レベル3】	(日中) ①1時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④堤防に軽微な漏水・浸食等が発見された場合	(高塚、清水)那賀高等学校(☆☆☆) (宮、西野)岩出市立総合体育館(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが2時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する1時間前	無	大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。		
		(夜間) ①氾濫注意水位(5.00m)を超過し、3時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に避難判断水位を超過すると見込まれる場合	(高塚、清水)那賀高等学校(☆☆☆) (宮、西野)岩出市立総合体育館(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが1時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する2時間前	無	大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。			
		避難指示【警戒レベル4】	(日中) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、1時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表された場合 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	(高塚、清水)那賀高等学校(☆☆☆) (宮、西野)岩出市立総合体育館(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)									①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。			
緊急安全確保【警戒レベル5】	(日中)(夜間) ①氾濫開始相当水位である9.52mに到達した場合 ②紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)	近くの安全な場所(緊急的避難行動先)														

避難情報等の発令のタイミング判定表

避難情報等の発令のタイミング判定表																
地区名	想定される災害	発令の種別	(A)想定する避難情報等の発令タイミング(避難路等の情報考慮なし)	指定する避難先	避難先までの路程(避難路の安全性)										総合評価による避難情報等の発令基準(A)、(B)、(C)、(D)を考慮)	
					浸水の可能性					土砂災害危険箇所近くの通過						
					通行道路の冠水の可能性			浸水する可能性のある地域の通過		危険性の高まる段階			(C)考慮すべきタイミング			
					該当の有無	冠水か所の通過時期	冠水する段階	(B)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過時期	危険性の高まる段階	(C)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過の時期		危険性
中島(B)地区	紀の川破堤、越水はん濫	高齢者等避難【警戒レベル3】	(日中) ①1時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④堤防に軽微な漏水・浸食等が発見された場合	山崎小学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが2時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する1時間前	無		大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。	
			(夜間) ①氾濫注意水位(5.00m)を超過し、3時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に避難判断水位を超過すると見込まれる場合	山崎小学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが1時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する2時間前	無		大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。	
		避難指示【警戒レベル4】	(日中) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、1時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表された場合 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	山崎小学校(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)												①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。
			(夜間) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、3時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表されたとき。 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に氾濫危険水位を超過すると見込まれる場合 ⑥堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	山崎小学校(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)												①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。
		緊急安全確保【警戒レベル5】	(日中)(夜間) ①氾濫開始相当水位である9.52mに到達した場合 ②紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)	近くの安全な場所(緊急的避難行動先)												

避難情報等の発令のタイミング判定表

避難情報等の発令のタイミング判定表																	
地区名	想定される災害	発令の種別	(A)想定する避難情報等の発令タイミング(避難路等の情報考慮なし)	指定する避難先	避難先までの路程(避難路の安全性)										総合評価による避難情報等の発令基準(A)、(B)、(C)、(D)を考慮)		
					浸水の可能性					土砂災害危険箇所の近くの通過							
					通行道路の冠水の可能性				浸水する可能性のある地域の通過				該当の有無	通過の時期		危険性	(D)考慮すべきタイミング
					該当の有無	冠水か所の通過時期	冠水する段階	(B)考慮すべきタイミング	該当の有無	通過時期	危険性の高まる段階	(C)考慮すべきタイミング					
大町、高瀬、畑毛、中黒、吉田地区	紀の川破堤、越水はん濫	高齢者等避難【警戒レベル3】	(日中) ①1時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④堤防に軽微な漏水・浸食等が発見された場合	(大町) 那賀高等学校(畑毛、中黒) 山崎小学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが2時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する1時間前	無		大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。		
			(夜間) ①氾濫注意水位(5.00m)を超過し、3時間後に避難判断水位(6.80m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫警戒情報が発表された場合 ③紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「避難判断水位の超過に相当(赤)」になった場合 ④現在の水位情報を確認し、長期的な雨量予測(SYNFOS-3D降水予測、府県気象情報、気象台ホットライン)を基に避難判断水位を超過すると見込まれる場合	(大町) 那賀高等学校(畑毛、中黒) 山崎小学校(☆☆☆)	有	10分程度	市内での時間雨量50mmが3時間継続した場合	市内での時間雨量50mmが1時間継続した場合	有	10分程度	紀の川が避難判断水位に達したとき	紀の川が避難判断水位に達する2時間前	無		大滝ダムの放流量が6時間前から洪水調整流量の1,200m ³ /S放流され、今後も継続し放流される、あるいはただし書き操作が行われるとき。		
		避難指示【警戒レベル4】	(日中) ①避難判断水位(6.80m)を超過し、1時間後には氾濫危険水位(7.00m)に到達すると予想され、流域雨量が継続あるいは増加し、水位の上昇が予想される場合 ②紀の川氾濫危険情報が発表された場合 ③氾濫開始相当水位である9.52mに到達することが予想される場合 ④紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫危険水位の超過に相当(紫)」になった場合 ⑤堤防に異常な漏水・浸食等が発見された場合	(大町) 那賀高等学校(畑毛、中黒) 山崎小学校(☆☆☆) 近くの安全な場所(避難所への避難が危険な場合)											①上述の状況に加え、紀の川流域で時間雨量50mm以上の降雨が続くと見込まれるとき。 ②大雨、暴風特別警報が発令されたとき。		
緊急安全確保【警戒レベル5】	(日中)(夜間) ①氾濫開始相当水位である9.52mに到達した場合 ②紀の川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)で「氾濫している可能性(黒)」になった場合 ③堤防に異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合 ④樋門・水門等の施設の機能支障が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(発令対象区域を限定する) ⑤堤防の決壊や堤防からの越水、掘込河川からの溢水が発生した場合(氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報[洪水])、水防団からの報告等により把握できた場合)	近くの安全な場所(緊急的避難行動先)															